



# 立田支店だより



立田支店に着任3名、新入組1名、他部署へ3名が異動しました。

【 ↓令和6年度に引き続き、令和7年度もよろしくお願ひします。↓ 】



支店長 鷲野



副支店長 齋藤



金融 吉田



金融 深尾



共済 竹内



共済 伊藤



渉外 長谷川

【 ↓ 立田支店へ新しく配属の職員(4名) ↓ 】

【横井】  
1日でも早く組合員の皆様のお役に立てるよう頑張ります

七宝支店より

総務部より

市江支店より

新入組

【堀尾】  
15年ぶりに立田支店へ戻ってきました。気軽に声をかけていただけるよう精一杯頑張ります



渉外 横井



渉外 堀尾



金融 加藤



金融 櫻井

【加藤】  
立田支店金融でお世話になります。早く利用者の皆さんに顔と名前を覚えていただけるよう頑張りたいと思います

【櫻井】  
新入組でわからないことばかりで、ご迷惑をお掛けする事があるかと思いますが、粘り強く頑張りますので宜しくお願いします。

【他部署への異動職員(3名)】

融資部  
0-207-弥富へ

融資部  
農業融資担当へ

弥富支店  
渉外担当へ



金融 大石



渉外 岩間



渉外 伊藤

【大石】  
3年間ではありましたがありがとうございました。またお会いした時は宜しくお願いします。

【岩間】  
組合員の皆様は優しく、立田支店で楽しい時間を過ごすことが出来ました。1年という短い期間でしたがありがとうございました。

【伊藤】  
もう少し立田支店で組合員の方々の役に立てよう勤めたかったので異動はとて残念でした。1年間でしたが本当にありがとうございました。

令和7年2月  
立田支店退職者



金融 山口

【1年の始まりは「1月」。なのに、なぜ新年度は「4月始まり」？】

なぜ、学校や会社は「4月始まり」？なぜ1月ではなく「4月」なのでしょう？日本では「入学式」といえば4月ですが、世界を見渡すとそのタイミングはバラバラ、なかでも「4月始まり」は、かなりの少数派。では、なぜ日本は4月？これには諸説あるものの、どうやら“日本の産業構造”と密接な関係があるらしいのです！

【はじまりの季節、春。そのワケは、実は“秋のお米”にあった?!】

時は元禄よりちょっと後、江戸時代の末期。当時の日本の主な産業といえば、農・林・水産業などの“第一次産業”。時代劇でよく見られる“年貢”のイメージ通り、税収の源といえば“お米”でした。

とはいえ、お米や農産物をそのまま税金として国に納めるわけにもいきません。大まかにいうと、秋に収穫したものを売ってお金にして税金が納められる。納められた税金を元に予算が組まれる。という流れになるのですが、これでは“新しい予算による新しい1年”を1月から始めるのには、無理があったため、「4月始まり」となったという説もあるようです。

過去の支店便りはJAあいち海部のホームページで！！

JAあいち海部

検索